

PDFの作成／編集 フリーソフト

## CubePDF と CubePDF Utility

長年愛用していた Windows Vista のパソコンにとうとう不具合が生じ、Windows7のパソコンに買い替えました。ところが、以前の PC にインストールして重宝していた PDF 編集ソフト「瞬簡 PDF」が新しい PC にインストールされないことがわかり、フリーソフトを探して、表題ソフトにたどり着きました。

### ダウンロード

株式会社CubeSoftのHPにアクセスする。

<http://www.cube-soft.jp/>



## CubePDF (PDF の作成)

### 1. PDFの作成 (基本)

CubePDFはPDFプリンタとしてインストールされるので、使用コンピュータのどのプログラムからでも文書や画像など(印刷可能なもの)をPDFに変換することができる。

## (例) インターネットの記事

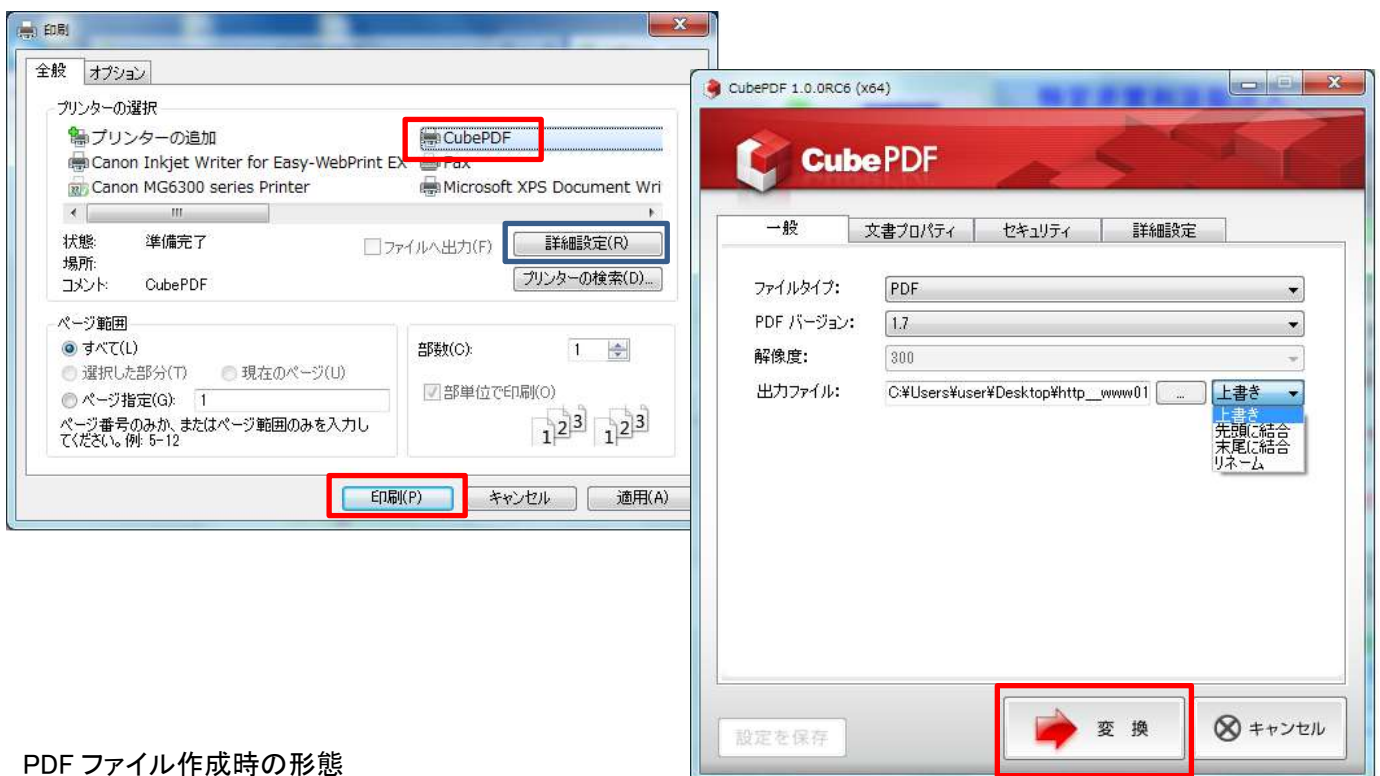
## ① 「印刷」を選ぶ



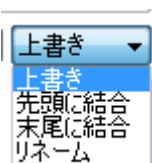
## ② 利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」を選択。「印刷」をクリックする。

Ⓜ 作成する PDF の用紙サイズなどを特に指定したければ、「詳細設定」であらかじめ設定しておく。

## ③ 新しいウィンドウで「出力ファイル」欄で保存場所を確認して、「変換」をクリックする。



## PDF ファイル作成時の形態



上書き	指定したファイル名で PDF ファイルが作成される
先頭に結合	指定した PDF ファイルの先頭に追加した PDF ファイルが作成される
末尾に結合	指定した PDF ファイルの末尾に追加した PDF ファイルが作成される
リネーム	別のファイル名で PDF ファイルが作成される

## 2. オプション設定

### ① 一般

ファイルタイプで、PDF 形式以外の形式に変換可能。プルダウンから選択。JPEG などの画像形式を選択した場合は、解像度の選択ができ。

The screenshot shows the 'CubePDF' interface with the '一般' (General) tab selected. The settings are as follows:

- ファイルタイプ: PDF
- PDF バージョン: 1.7
- 解像度: 300
- 出力ファイル: C:\Users\User\Desktop\http\_www01 ... 上書き

### ② 文書プロパティ

ファイルタイプで PDF を選択した場合、タイトルや作成者などの情報を登録できる。登録した情報は作成した PDF のプロパティから確認できる。

The screenshot shows the 'CubePDF' interface with the '文書プロパティ' (Document Properties) tab selected. The fields are:

- タイトル: [Empty text box]
- 作成者: [Empty text box]
- サブタイトル: [Empty text box]
- キーワード: [Empty text box]

### ③ セキュリティ

作成した PDF にパスワードを設定できる。まず、「パスワードによる...」の□にチェックを入れ、適宜必要項目を設定する。

The screenshot shows the 'CubePDF' interface with the 'セキュリティ' (Security) tab selected. The settings are:

- セキュリティ
  - パスワードによるセキュリティを設定する
  - パスワード: [Empty text box]
  - パスワードの確認: [Empty text box]
  - 操作:
    - PDFファイルを開く際にパスワードを要求する
    - 閲覧専用のパスワードを設定する
    - パスワード: [Empty text box]
    - パスワードの確認: [Empty text box]
    - 印刷を許可する
    - テキストや画像のコピーを許可する
    - フォームフィールドへの入力を許可する
    - ページの挿入、回転、および削除を許可する

## ④ 詳細設定

ダウンサンプリング(画像内のピクセル数を減らして容量を軽くする)の方法:

[平均化、バイキュービック、サブサンプル]

を選択できる。

「起動時にアップデートを確認する」にチェックを入れておくと、CubePDF がバージョンアップされた際に更新案内が表示される。

使用中の CubePDF のバージョンは、CubePDF のロゴをクリックするとわかる。

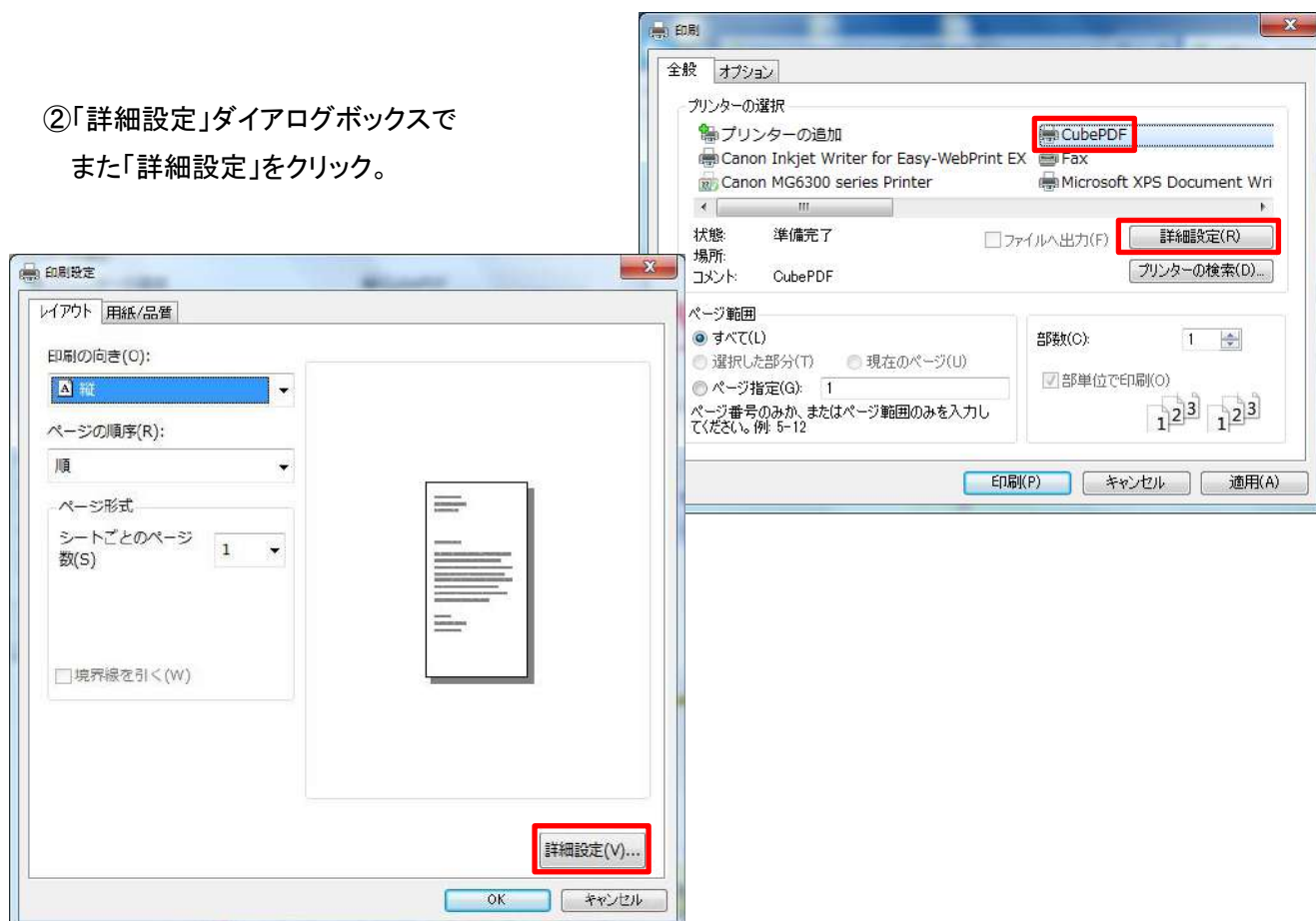


## 3. その他

- 生成する PDF の画像をきれいにすることができる。

①プリンタの一覧から「CubePDF」を選択。「詳細設定」をクリック。

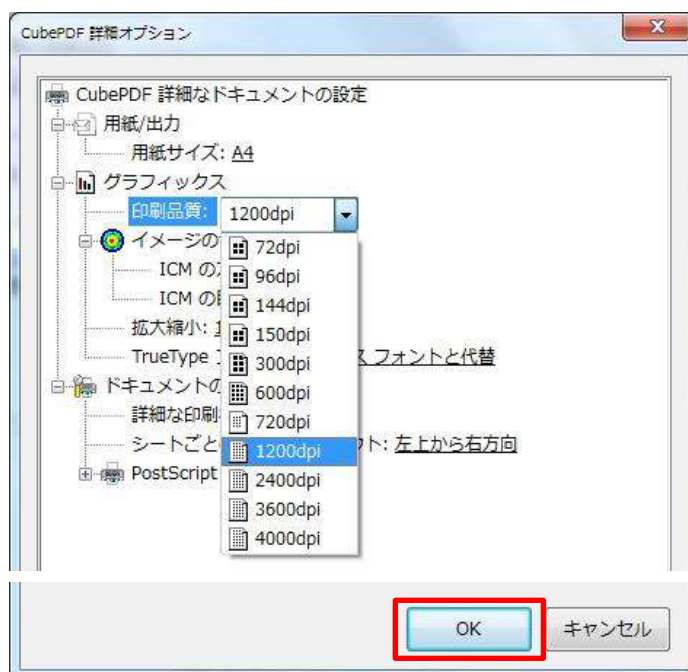
②「詳細設定」ダイアログボックスでまた「詳細設定」をクリック。





- ③「詳細オプション」ダイアログボックスで  
グラフィックスの「印刷品質」を  
プルダウン。  
印刷解像度を上げる。  
「OK」ボタンをクリック。

- ④元に戻って「印刷」ボタンをクリック。  
⑤画像のきれいなPDFが作成される。



#### ● CubePDF とユーザープログラムの連携

ユーザープログラムの例として、Evernote の場合が紹介されています。

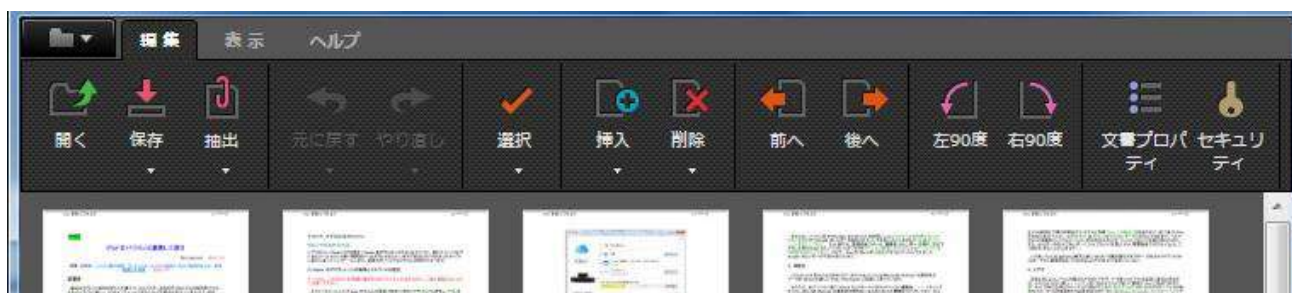
<http://blog.cube-soft.jp/?p=10>

## CubePDF Utility (PDF の編集)

起動時の画面



「編集」タブ



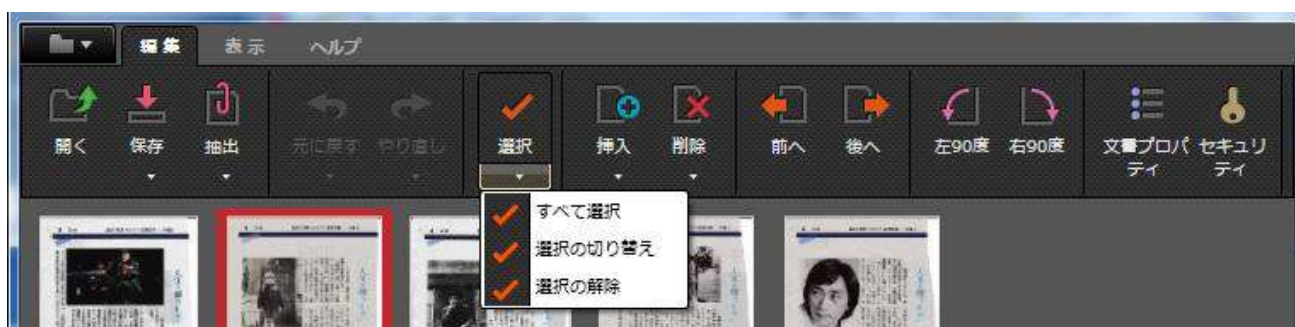
### 1. ファイルを開く

「開く」ボタンからファイルを選択、または エクスプローラーからドラッグ & ドロップ。  
開いたファイルはサムネイル表示される。

### 2. 保存

上書きまたは名前を付けて保存。

### 3. ページの選択

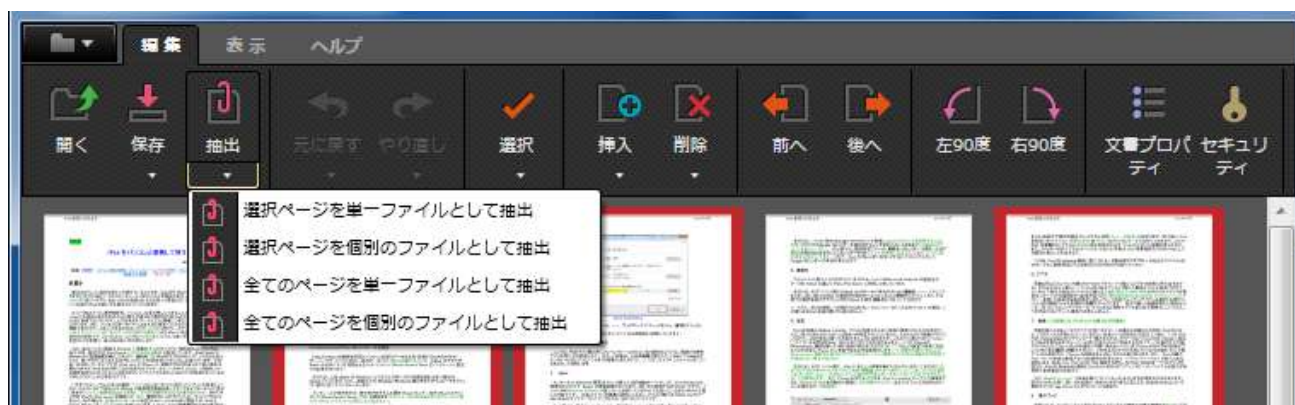


サムネイルをクリックして選択。連続したページは[Shift]+クリック。

離れたページは[Ctrl]+クリック。

「選択の切り替え」で、選択と非選択のページが切り替わる。

### 4. 抽出(ファイルの分割)



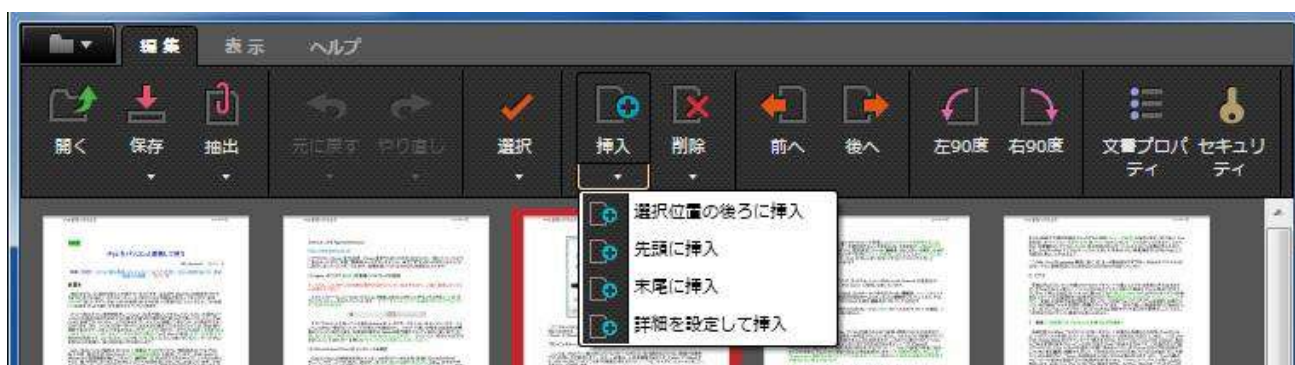
選択したページをまとめた新たなファイルを作成できる（ファイル名を付けて保存）。

あるいは必要なページのみを個別ファイルとして抽出できる。

「全てのページを単一ファイルとして抽出」 → コピーができる。別のファイル名で保存可能。

「全てのページを個別のファイルとして抽出」 → すべてが分割される。

## 5. ページの挿入（ファイルの結合）

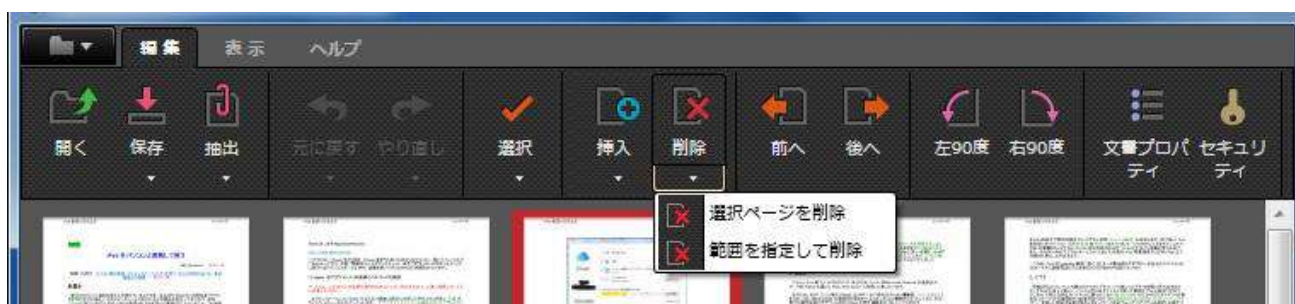


ファイルの先頭、末尾、あるいは選択位置の後ろに挿入できる。

「詳細を設定して挿入」を選択すると、下のダイアログボックスが現れ、複数のファイルを同時に挿入できる。



## 6. ページの削除



選択したページ、範囲したページを削除する。

「範囲を指定して削除」を選ぶと範囲を指定するダイアログボックスが現れる。

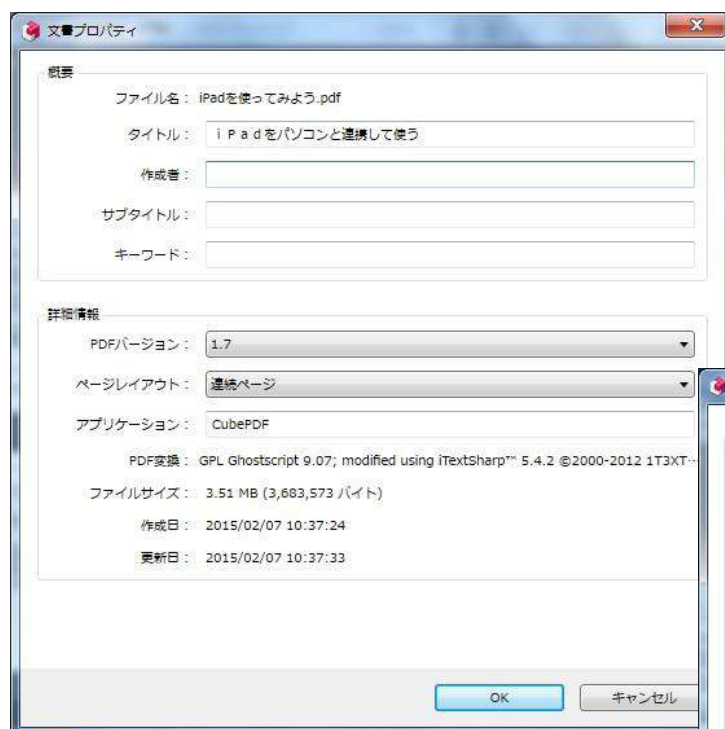
## 6. ページの順序変更

「前へ」「後へ」で選択したページを移動。また、サムネイルをドラッグして移動させることもできる。

## 7. ページの回転

「左 90 度」「右 90 度」で選択したページの向きを変えることができる。

## 8. 文書プロパティとセキュリティの設定



「文書プロパティ」で  
タイトル、作成者、サブタイトル、キーワード  
などを編集できる。



## 「セキュリティ」で

パスワード(オーナーパスワード)や  
PDFファイルを開く際のパスワード(ユーザー  
パスワード)、また 各種操作の許可設定を  
することができる。

以上